

ボランティア活動グループ訪問記

第7回 上溝ひくしまつりの

「点字体験コーナー」に参加



11月6日(土) 上溝公民館にて

午前10時～午後3時

みなないいひと福祉体験講座のひととして相模原市京沢赤十字奉仕団(以下点奉)が点字体験コーナーに参加し、来場者に点字で自分の名前を書いてもらっています。5名で回りました。東林公民館や相武台公民館でも以前から行われており上溝公民館は今年で7年目。小中学校の福祉体験講座にも毎年講師派遣をしているが地域のひくしまつりは学校の授業とは一味違っていて開かれていく楽しみも兼ねてに私達も交代で参加できるのが楽しみでもあります。

朝から準備が始まり、上溝小学校鼓笛隊によるファンファーレでオープン。連雲大会や地元野菜販売、福祉バザー、福祉体験、障害者地域作業所の製品販売やスタンプリリーもあり、今年は特に盛況でした。



50音表を見ながら点字の説明

点字体験に参加した親子の1組、4才の男の子は平仮名だけ読めるのでママと一緒に自分の名前を打っていました。プチプチと音を立てて点字が打てるさまにはまっちゃったとい



プチプチと音を立てて点字を打ってみる

同じ会場で盲ろう体験も行っており、アイマスクと耳せんをして介助者と共に数メートル歩く、とても怖そう。点奉の仲間の一人は手話も勉強中で、盲ろう者の指に直接触れて手

話のやりとりをする体験をして、相手の方に手話が伝わったと喜んでいました。実際に手話を使う経験ができてうれしかったです。その他創作コーナーもあって、今回は折の紙で王冠のような鉛筆立てを作りました。以前サンタクロースの飾りを作ったこともあり、このように楽しい体験もでき、作業所の方たちと触れあうことができる福祉まつりに参加できることは、地域の一般の方たちと交流もできる意義のあることだと思います。スタンプリリーの受付や事前準備をして下さった民生委員さん他上溝地域の皆様、お世話もでした。あしがういづくまつり。今回点字体験をした人は150名余り、今までで最大の参加者でした。

(点字体験コーナーを担当して)

杉崎・三十庵



び、お願いしています。印象に残っているのは、『安来節保存会』で「体力を使う踊りなので、10分が限界。アンコール無し」との事でしたが、安来節に大喜のお年寄り達が、大きな声で「アンコールアンコール」結局、アンコールを2回も踊って頂き、演者さんには大変な思いをさせてしまいました。来て下さった方に楽しかったあーと感涙してしまいました。ネット音も力をかせます。これから出来る事を続けていきたいと思っています。



ワイズに挑戦

モチモチ食感で人気のタピオカに関するワイズです。

①タピオカの原料となるキャッサバは、次のうちどれの仲間でしょうか。

ア イモ ① サツミ ② アウセロシ ③ キン

② 次のうち、タピオカの原料となるキャッサバについて正しいことはどれでしょうか。

ア アフリカ原産である ① 毒がある ② 「王様の食べ物」と呼ばれた ③ 日本では栽培が盛ん

③ 2019年の前半(1～6月)、日本のタピオカの輸入量は前年の同じ時期に比べて約何倍になったでしょうか。

ア 約2.3倍 ① 約8.3倍 ② 約1.3倍 ③ 約4.3倍

ワイズの答え

①はアのイモ ②はイの毒がある ③はエの約4.3倍

キャッサバは原産地のフィリピンでは「食糧の食べ物」と呼ばれていました。日本でも静岡県などで栽培されています。なお、キャッサバにはシアン化合物の有毒成分が含まれているため、毒抜き処理が必要となります。

